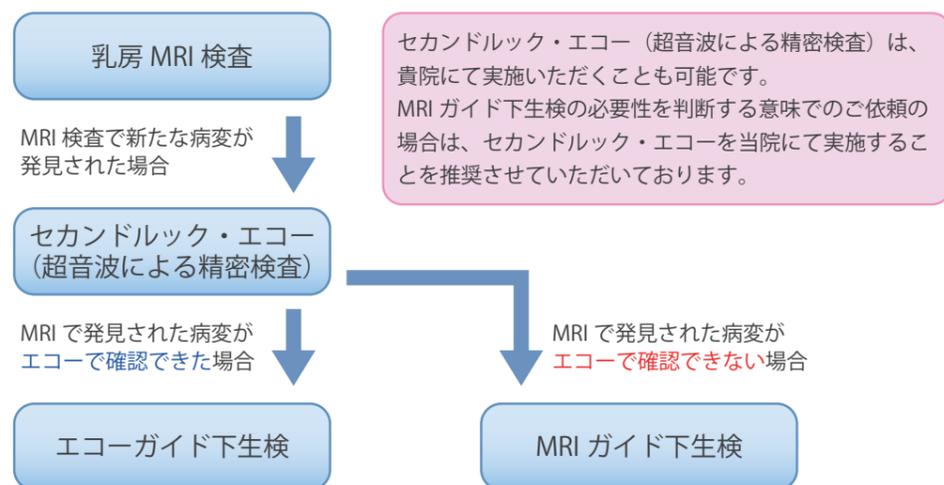


Topic 1 2010年乳房検査実績

当クリニックでは 2009 年、亀田総合病院 乳腺科 戸崎光宏先生の指導のもと、乳腺領域を専門とする画像診断チームを構成し、乳がんの早期発見・診断に取り組んで参りました。

乳房 MRI 検査で悪性を疑う所見に関しましては、セカンドルック・エコー（超音波による精密検査）を行い、MRI 検査で発見された病変がエコーで確認できる場合は、エコーガイド下生検 (CNB) を実施、また乳房 MRI 検査でしか病変が確認できない場合は（エコーで病変を確認できない場合）、戸崎先生による MRI ガイド下生検を実施しております。

● 乳房検査の流れ

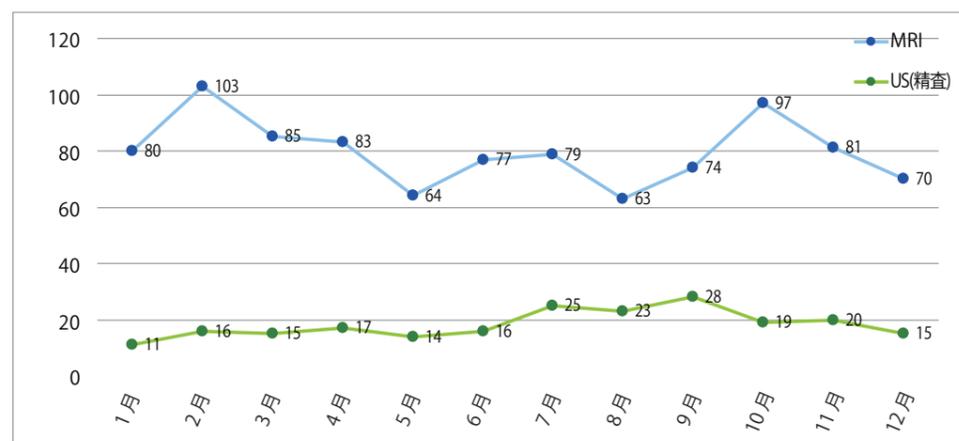


2010 年は、大学病院をはじめ多くの乳腺外科の先生方から、乳房検査のご依頼をいただき、多くの検査を実施することができました。本年度においても更なる検査品質の向上を目指し、乳がんの早期発見、診断に取り組んで参ります。

乳がんの精査、確定診断に関する、ご質問がございましたらお気軽にお申し付け下さい。

● 2010 年度 検査実績

乳房 MRI 検査数：956 症例
 エコー検査数（精査）：219 症例
 エコーガイド下生検：14 症例 うち 悪性所見：5
 MRI ガイド下生検：4 症例 うち 悪性所見：2



Topic 2 頭部血管性疾患の画像診断

八重洲クリニック院長 小倉が昨年 10 月、日本橋医師会にて「頭部血管性疾患の画像診断」について講演させていただきましたので、内容をご紹介します。

● CT と MRI の違い

CT は X 線を応用した技術で、形態学的変化をとらえやすいという特徴があります。しかし、画像コントラストは 1 種類しかなく、頭部のような複雑な組織では、詳細が分かりにくいことがあります。MRI は電磁波を応用した技術で、撮影法も複数ありある程度の専門知識を必要とします。しかし、そのメリットは多く、脳血管障害を始め、多くの病気を発見するのに役立ちます。

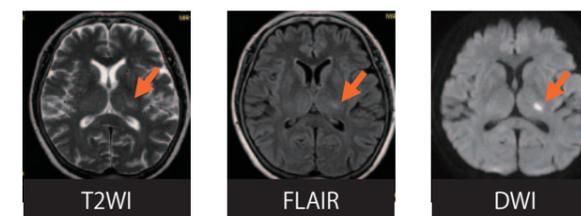
● MRI 画像の特徴

T1WI (T1 強調画像)	T2WI (T2 強調画像)	FLAIR (フレアー)	DWI 拡散強調画像	MRA 血管撮影
脳脊髄液が黒 CT とよく似た画像で、解剖学的異常を発見しやすい	脳脊髄液が白 多くの病変は高信号（白く）に描出される	T2w で水抑制をした画像です。ラクナ梗塞等を発見しやすい	急性期脳梗塞が発見できる	動脈瘤等、血管病変の発見ができる

● 症例紹介

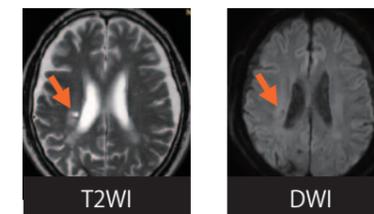
Case1：64 F

主訴：右足が上がりにくい。
 突然の頭痛
 診断：急性期左視床梗塞



Case2：70 M

主訴：左眼視覚障害
 左側頭部痛
 診断：陈旧性ラクナ梗塞



Case3：64 M

主訴：頭部不快感
 診断：亜急性期脳梗塞

